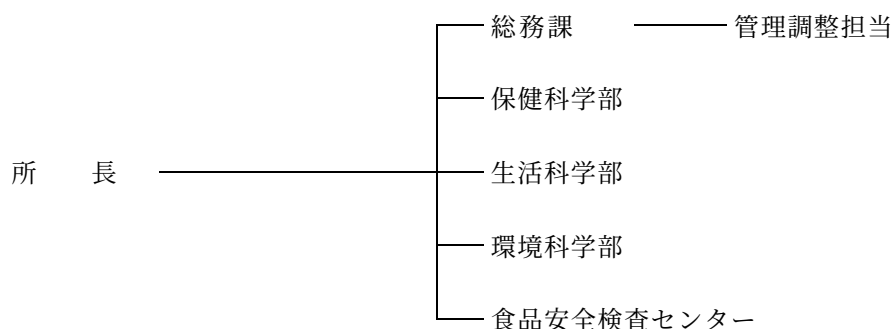


1 沿革

昭和	23年	3月	衛生研究所開設（岐阜市司町 県庁内）
	26年	8月	衛生研究所新築移転（岐阜市八ツ梅町）
	40年	4月	衛生研究所に公害研究センターを新設
	43年	4月	衛生研究所に公害研究所を付置
	45年	3月	衛生研究所新築移転（岐阜市野一色）
	45年	4月	公害研究所，衛生部より企画開発部へ所管換
	47年	4月	公害研究所，企画開発部より環境局へ所管換
	48年	4月	衛生研究所に薬事指導所を付置
	49年	12月	公害研究所移転（岐阜市藪田）
	57年	4月	公害研究所，環境部より生活環境部へ所管換
	58年	4月	衛生研究所は衛生部より，公害研究所は生活環境部より衛生環境部へ所管換
平成	5年	4月	衛生研究所と公害研究所が組織統合により保健環境研究所に改称
	8年	4月	保健環境研究所，衛生環境部より総務部に所管換
	10年	4月	保健環境研究所，総務部より知事公室に所管換
	11年	4月	薬事指導所を廃止
	11年	8月	保健環境研究所新築移転（各務原市那加不動丘1-1 健康科学センター内）
	18年	4月	保健環境研究所，知事公室より総合企画部に所管換
	19年	4月	健康科学担当を廃止
	20年	4月	食品安全検査センターを新設
	22年	4月	保健環境研究所，総合企画部より健康福祉部に所管換

2 運営概要

2.1 組織



2.2 職員数

（平成23年3月31日現在）

区分	定員	実人員	実 人 員 内 訳							
			所長	管理監	課長	総務課	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
事務	4	4			1	3				
技術	26	26	1				6	4	11	4
非常勤専門職	4	4					2		1	1
計	34	34	1		1	3	8	4	12	5

2.3 分掌事務

総務課

- ・職員の人件サービスに関すること。
- ・予算の編成，執行及び決算に関すること。
- ・岐阜保健所との連絡調整等に関すること。
- ・岐阜県健康科学センター（共用部分）の活用に関すること。
- ・県有財産及び物品の維持管理に関すること。

- ・検査手数料の徴収に関する事。

保健科学部

- ・感染症発生動向調査事業（ウイルス及び細菌）の検査及び調査研究に関する事。
- ・エイズウイルス及びウイルス性肝炎の検査に関する事。
- ・インフルエンザの検査及び調査研究に関する事。
- ・ウイルス性食中毒の検査及び調査研究に関する事。
- ・感染症流行予測調査に関する事。
- ・つつが虫病等リケッチア感染症の血清学的検査及び調査研究に関する事。
- ・細菌性食中毒の検査及び調査研究に関する事。
- ・三類感染症の検査及び調査研究に関する事。
- ・レジオネラの検査及び調査研究に関する事。
- ・食品、薬品、飲料水等の細菌学的検査及び調査研究に関する事。
- ・クリプトスポリジウムの検査に関する事。
- ・バイオテロに関する検査に関する事。
- ・不明疾患の検査及び調査研究に関する事。
- ・保健所検査担当者の技術研修に関する事。

生活科学部

- ・医薬品に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・医薬部外品に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・化粧品に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・医療機器に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・医薬品等の生産技術及びGMPバリデーションに関する事。
- ・薬物乱用防止に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・家庭用品の検査及び調査研究に関する事。
- ・衛生動物及び昆虫の同定・駆除に係る調査研究に関する事。
- ・連携大学院の運営及び活用に関する事。

環境科学部

- ・環境放射能の測定及び調査研究に関する事。
- ・大気環境監視テレメータシステムの管理運営に関する事。
- ・大気環境測定車による環境大気の測定調査に関する事。
- ・ばい煙、粉じん等発生源についての調査研究に関する事。
- ・臭気対策技術の調査研究に関する事。
- ・国設酸性雨測定所の管理に関する事。
- ・東アジア酸性雨モニタリングネットワークに係る調査及び測定に関する事。
- ・地下水、河川水等の検査及び調査研究に関する事。
- ・未規制化学物質の測定調査に関する事。
- ・ダイオキシン類等微量化学物質の測定及び調査研究に関する事。
- ・一般廃棄物及び産業廃棄物の調査研究に関する事。
- ・廃棄物の処理技術、再資源化の調査研究に関する事。

食品安全検査センター

- ・食品中の残留農薬・残留抗菌剤等に係る検査及び調査研究に関する事。
- ・農薬の新規検査法の確立に関する事。
- ・食品添加物の検査及び調査研究に関する事。
- ・食品中のPCB・重金属に係る検査に関する事。
- ・食品中のアフラトキシンの検査に関する事。
- ・食品用器具及び容器包装の検査に関する事。
- ・食品に係る健康危機事案及び苦情食品の検査に関する事。
- ・保健所検査担当者の技術研修に関する事。

2.4 職員名簿

(平成23年3月31日現在)

部 課 名	補 職 名	氏 名	備 考
	所 長	坂 井 至 通	
総 務 課	課 長 課 長 補 佐 主 査 主 任	宮 部 昌 幸 藤 沢 康 子 江 尻 靖 子 西 岡 多 江	
保健科学部	部長研究員兼部長 主任専門研究員 専門研究員 主任研究員 研 究 員	小 林 香 夫 白 木 豊 葛 口 剛 野 田 万希子 野 田 伸 司	23.3.31退職
生活科学部	部 長 主任専門研究員 専門研究員 専門研究員	河 村 博 多 田 裕 之 吉 田 一 郎 神 山 恵理奈	
環境科学部	部長研究員兼部長 主任専門研究員 同 同 専門研究員 主任研究員 同 同 同 研 究 員	西 川 治 光 田 中 耕 林 弘一郎 岡 正 人 岡 隆 史 佐々木 正 人 三 原 利 之 鈴 木 崇 稔 金 森 信 厚 高 島 輝 男	23.3.31退職
食品安全検査 センター	センター長 主任専門研究員 専門研究員 研 究 員	原 信 行 大 塚 公 人 菅 原 吉 規 南 谷 臣 昭	23.3.31退職 23.4.1異動
	主任研究員 研 究 員	古 田 紀 子 門 倉 由紀子	休職 休職
	衛生環境技術指導員 衛生環境技術指導員 衛生環境技術指導員 衛生検査業務専門員	高 原 康 光 白 木 康 一 猿 渡 正 子 山 下 聖 子	

2.5 歳入及び歳出

[歳 入]

単位：円

名 称	収 入 額	備 考
健康科学センター使用料	5,085,210	
財産貸付収入	627,667	
物品売払収入	5,460	
受託事業収入	242,000	
労働保険料等納付金	93,652	
雑入（目的外使用料管理費外）	6,402,023	
計	12,456,012	

[歳 出]

単位：円

款 項 目 節	決 算 額	備 考
一般管理費	2,197,191	
財産管理費	10,844,295	
科学技術振興費	182,883	
医務総務費	152,326	
医務費	324,000	
保健環境研究費	135,821,288	
保健所費	426,605	
食品衛生指導費	28,996,957	
生活衛生指導費	553,226	
感染症予防費	3,105,841	
薬務費	2,238,249	
水道費	91,140	
環境管理推進費	1,438,430	
公害対策費	23,780,584	
雇用促進費	479,938	
計	210,632,953	

2.6 土地建物・施設

1) 土 地

所在地：各務原市那加不動丘 1-1

面 積： 12,320.63m²

2) 建 物

	室 名	面積 (m ²)
屋上機械室		61.86
5 F	遺伝子解析実験室・安全実験室・血清研究室・無菌室 ウィルス研究室・培地調製室・細菌研究室・低温機器室 暗室・滅菌洗浄室・カンファレンスルーム	985.55
4 F	抗菌剤自然毒研究室・食品添加物研究室・薬品研究室 残留農薬研究室・バイオサイエンス研究室・遮光実験室 生活衛生研究室・生薬鑑定種子保存室・共通機器室 低温機器室・低温保存室・カンファレンスルーム	985.55
3 F	地球環境研究室・廃棄物研究室・蒸留水電気炉室 大気研究室・官能試験室・臭気研究室・共通機器室 恒温恒湿実験室・ドラフト室・カンファレンスルーム	985.55
2 F	水質研究室・揮発性物質前処理室・低温保存室 動物実験室・共通機器室	1,861.89
1 F	所長室・テレメーター室・微量化学物質分析室 環境放射能研究室・総務課事務室・会議室・図書室・書庫 情報コーナー	1,837.71
小 計		(6,718.11)
共通部分	ハイビジョンシアター・レファレンスホール	1,243.91
保健所棟		1,877.57
別棟 (車庫)		135.22
小 計		(3,256.70)
合 計		9,974.81

3 研究及び検査の概要

3.1 保健科学部

3.1.1 調査研究

1) 腸管出血性大腸菌の迅速・簡便な分子疫学解析法の検討に関する研究

(平成 21 年度～24 年度)

感染症や食中毒の発生時には、感染源・感染経路を解明するため、菌の遺伝子型を利用した疫学解析（分子疫学解析）が行われ、手法としてパルスフィールドゲル電気泳動法（PFGE 法）が一般に用いられている。しかし PFGE 法は、検査に数日を要すること、手技が煩雑で熟練を要すること、再現性がやや劣るなどの問題点があった。このため近年、PCR 法をベースとした迅速・簡便な方法が開発され、その有用性が検討されている。特に腸管出血性大腸菌感染症では、全国的な増加や広域流通食品による食中毒の発生が問題となるなど、分子疫学解析の重要性が増しており、より迅速・簡便でかつ解析能力の高い検査体制の整備が求められている。そこで、これらの新しい検査法や PFGE 法の改良法などいくつかの手法について、その有用性や問題点の比較を行うことを目的とした検討を開始した。

平成 22 年度は、DNA に存在する縦列反復塩基配列（Variable-Number Tandem-Repeats:VNTR）を利用した Multiple-Locus VNTR Analysis (MLVA 法) の条件設定を行った。設定した条件に従い、腸管出血性大腸菌 0157 保存株 147 株の繰り返し数を決定した。そのうち、事例代表株 72 株では 56 のパターンに分けることができた。一方、繰り返し数が算出できなかった株・領域が少数ながら認められたことから、追加のプライマーでの解析等が必要であることがわかった。

2) ウイルス感染症における重複感染の実態調査と主因病原体解明に関する研究

(平成 21 年度～24 年度)

感染症の原因特定時に、複数の病原体を検出する事例がある。複数の病原体の検出事例の頻度、及び重複感染の起こる背景を把握するとともに、主因病原体を特定することを目的とし、多種のウイルスを検査対象として遺伝子検索を行い、重複感染の実態を調査した。平成 22 年度、県内 15 定点病院において採取された 128 検体について、ウイルス分離・同定試験と遺伝子検索を行ったところ、2 例の重複感染疑い例があった。1 例目は感染性胃腸炎・急性脳炎患者検体について咽頭ぬぐい液からアデノウイルス 2 型が分離され、同一患者の糞便から A 群ロタウイルス遺伝子が検出された。2 例目は感染性胃腸炎患者糞便検体からエンテロウイルス 71 型を分離、同一検体の遺伝子検査でノロウイルス GII 遺伝子が検出された。どちらの事例についても重複感染による影響の有無は明らかになっていないが、更なる実態調査により病因究明の一助となることが期待される。

ノロウイルスは感染力が強く、ごく少量のウイルス摂取でも発症し、激しい嘔吐・下痢等の食中毒症状を呈する。感染者の吐物及び便には大量のウイルスが含まれること、症状軽減後もしばらくはウイルスが排出されることから、感染者が気付かないうちに食材や施設を汚染する危険性は高く、ウイルスに感染していた調理従事者からの二次的感染が疑われる事例は少なくない。本研究では、食中毒事例及び集団胃腸炎事例発生時に調理施設・福祉施設の拭き取り検査などの汚染実態調査を積極的に行い、今後の食品衛生・感染症予防分野に役立てることを目的としている。平成 22 年度は、拭き取り 60 検体、食品 13 検体、及び水 5 検体について検査を行い、7 検体（拭き取り 7 検体）からノロウイルス遺伝子を検出した。

3) 厚生労働科学研究費補助金による研究事業

厚生労働科学研究費補助金による下記研究事業の研究班に研究協力者として参加し、調査研究を行った。

1. 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「新型薬剤耐性菌等に関する研究」

(平成 21 年度～23 年度)

2. 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「食品由来感染症調査における分子疫学手法に関する研究」

(平成 21 年度～23 年度)

3.1.2 行政検査

[ウイルス関係]

1) 感染症流行予測調査

①ポリオ感染源調査

健康者の糞便 52 検体について、RD18s 細胞、及び HeLa 細胞を用いてウイルス分離を実施した。ポリオウイルスは今回分離されず、エコーウイルス 25 型が 3 例、エコーウイルス 3 型、コクサッキーウイルス A6 型、アデノウイルス 2 型がそれぞれ 2 例、コクサッキーウイルス B1 型、B4 型がそれぞれ 1 例ずつ分離・同定され、同定不能ウイルスが 2 株分離された。

②インフルエンザ感染源調査

ブタ鼻腔ぬぐい液 100 検体について、MDCK 細胞を用いてインフルエンザウイルス分離を実施した。全て分離陰性であった。

2) 不明疾患

集団かぜ事例において、咽頭ぬぐい液及び鼻腔ぬぐい液検体についてインフルエンザウイルス遺伝子検査及びウイルス分離を実施した。32 人分 62 検体中 16 人分 29 検体からインフルエンザウイルス AH1pdm 遺伝子が、5 人分 9 検体からインフルエンザウイルス A 香港型遺伝子が、7 人分 15 検体からインフルエンザウイルス B 型遺伝子が検出された。ウイルス分離検査についてはインフルエンザウイルス AH1pdm 1 人分 1 検体を除く全ての患者検体から遺伝子検査で検出されたウイルスが分離・同定された。また、A 型肝炎の発生 (IgM による検出) が 1 件あり、遺伝子検査により A 型肝炎ウイルス遺伝子を検出した。

3) 結核・感染症発生動向調査事業におけるウイルス検査

1. 当該事業のうち、ウイルス検査及び検査情報の提供、また、毎月開催される感染症サーベイランス解析小委員会に参画した。検査結果は、地方感染症情報センター、各保健所、医療機関に報告し、ウイルスが分離、同定されたときは国立感染症研究所に報告した。

2. 患者数 65 名、検体 128 件について検査した結果、インフルエンザウイルス AH1pdm が 12 検体、エンテロウイルス 71 型が 12 株、エコーウイルス 6 型が 7 株、インフルエンザウイルス A 香港型が 4 検体、アデノウイルス 2 型、ライノウイルス、インフルエンザウイルス B 型がそれぞれ 1 株分離・同定された。

また、遺伝子検査において A 群ロタウイルスが 1 検体、ノロウイルス GII が 8 検体、デングウイルス 3 型が 2 検体、インフルエンザウイルス AH1pdm が 27 検体 (14 人分)、インフルエンザウイルス A 香港型が 8 検体 (4 人分)、インフルエンザウイルス B 型が 2 検体 (1 人分) から検出された。

3. 四類感染症 (ツツガムシ病疑い) の 6 検体 (2 人分) について、遺伝子検査及び蛍光抗体法による抗体価測定を実施した。結果は全検体陰性であった。

4) ウイルス性食中毒・集団胃腸炎発生原因検査

ノロウイルス遺伝子検出を RT-PCR 法にて実施した。確認検査は TaqMan リアルタイム PCR 法を用いた (表 1)。また、ノロウイルスが検出されなかった 2 事例に対し、他の食中毒原因ウイルスの遺伝子検出及びウイルス分離を実施した (表 1 ; 受付 No. 7, 9)。

表1 ウイルス性食中毒検査状況

受付No	発生日月日	保健所	検査材料	検体数	RT-PCR検出数	確認検査陽性数
1	22. 3.27	岐阜	PCR産物	3		3
2	22. 4. 3	岐阜 西濃	PCR産物 拭き取り 井戸水	25 10 1	 0 0	25
3	22. 4. 7	西濃 揖斐センター	PCR産物 拭き取り	8 6	 1	8 1
(4) #	22. 5.19	関 岐阜	PCR産物 拭き取り 水(商品)	2 5 1	 0 0	2
5	22. 6.15	西濃	PCR産物 拭き取り 井戸水	17 8 1	 1 0	16 1
6	22. 7. 5	岐阜	PCR産物	9		9
7※	22. 8.30	中濃	患者糞便 抽出RNA	9 9	0 0	
8	22.10.31	中濃	PCR産物	2		2
9※	22.11. 8	岐阜	患者糞便 抽出RNA	6 6	0 0	
10	22.12. 4	飛騨	PCR産物 拭き取り 食品	19 8 12	 0 5	19 0
11	23. 2.14	関	PCR産物	1		1
12	23. 2.17	岐阜	拭き取り	9	3	3
13	23. 3. 6	西濃	PCR産物 拭き取り 食品 井戸水	15 9 1 2	 2 0 1	13 2 0
14	23. 3. 5	東濃	PCR産物 拭き取り	6 10	 0	6
小計			PCR産物 抽出RNA 水 拭き取り 食品	107 15 5 65 13	 0 1 7 5	104 0 7 0
合計				205	13	111

※ ノロウイルス陰性事例，他のウイルスも不検出

(4)は食中毒事例ではない検査依頼

5) エイズウイルス抗体検査

免疫クロマトグラフィー法で迅速診断を行っている保健所から依頼のあった11検体について、PA（ゼラチン粒子凝集）法で追加検査を行った（表2）。追加検査陽性2検体についてはウェスタンブロット法により確認

検査を行った。

表2 エイズ検査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
追加検査		1	1	2	1	2				2		2	11

6) B型肝炎ウイルス抗原及びC型肝炎ウイルス抗体検査

エイズウイルス抗体検査依頼者で、B型及びC型肝炎検査希望者に対し、免疫クロマトグラフィー法によるB型肝炎抗原、及びC型肝炎抗体のスクリーニング検査を実施した（B型肝炎 88 検体、C型肝炎 88 検体）。

7) 肝炎ウイルス相談・検査事業

B型肝炎 104 検体、C型肝炎 105 検体の検査依頼があり、免疫クロマトグラフィー法によるB型肝炎抗原、及びC型肝炎抗体のスクリーニング検査を実施した（表3、4は6）、7)の合計）。

表3 B型肝炎抗原スクリーニング検査状況

保健所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
岐阜	1	2	2	5	2	3	3	4		3	2	1	28
西濃		3	3	2	1			3	3		2	1	18
関	1		1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	14
中濃	2	5	4		8	5	5	9	5		6	5	54
東濃	4	3	3	2	3	3	6	4	4	1	5	5	43
恵那		2	3		5		2	2				1	15
飛騨	4		4	2		1	2	2	1	1	1	2	20
計	12	15	20	12	20	13	20	25	14	7	17	17	192

表4 C型肝炎抗体スクリーニング検査状況

保健所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
岐阜	1	2	2	5	2	3	3	4		3	2	1	28
西濃		3	3	2	1			3	3		2	1	18
関	1		1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	14
中濃	2	5	4		8	5	5	9	5		6	5	54
東濃	4	3	3	2	3	3	6	4	4	1	5	5	43
恵那		2	3	1	5		2	2				1	16
飛騨	4		4	2		1	2	2	1	1	1	2	20
計	12	15	20	13	20	13	20	25	14	7	17	17	193

8) 新型インフルエンザ検査（重症サーベイランス）

2009年大流行した新型インフルエンザについて、厚生労働省からの通知に基づく「インフルエンザ重症サーベイランス」による遺伝子検査を行った。5人分の検体を検査し、3人分の検体からインフルエンザウイルスAH1pdm遺伝子を検出した。また、同時に行ったウイルス分離検査では、全て陰性であった。

9) 新型インフルエンザにおける抗インフルエンザ薬剤耐性検査

国立感染症研究所からの依頼に基づき「新型インフルエンザの抗インフルエンザ薬剤耐性スクリーニング検査」を実施した。集団かぜ・発生動向調査・重症サーベイランスで搬入され、インフルエンザウイルスAH1pdm

陽性と判定された33検体について、分離株29株、臨床検体からの抽出RNA4検体を用いて検査を行った結果、分離株1株が抗インフルエンザ薬耐性マーカー遺伝子を有しており、国立感染症研究所における薬剤感受性検査の結果、薬剤耐性であることが判明した。

10) 麻疹ウイルス遺伝子検査

厚生労働省の通知に基づき、麻疹ウイルスの遺伝子全数検査を行った。5人分9検体について麻疹ウイルス及び風疹ウイルス遺伝子の検出を行い、全て陰性であった。

[細菌関係]

1) 細菌性食中毒

保健所からの検査依頼事例（疑い含む）を表5に示した。

表5 細菌性食中毒（疑い含む）検査状況

受付 No.	発生 年月日	保健所	菌名 または 検査材料	菌株 (検体) 数	検 査 項 目
1	22. 3.18	岐阜	カンピロバクター	3	同定
2	22. 4. 2	西濃	カンピロバクター	3	同定
3	22. 4. 7	西濃	カンピロバクター	3	同定
4	22. 5.23	岐阜	セレウス菌	22	嘔吐毒合成遺伝子検出，下痢毒の検出
5	22. 7.18	岐阜	カンピロバクター	6	同定
			サルモネラ	1	同定，血清型別
6	22. 8.10	西濃	カンピロバクター	4	同定
7	22. 8.31	飛騨	セレウス菌	155	嘔吐毒合成遺伝子検出，血清型別
8	22.10. 6	東濃	サルモネラ	40	同定，血清型別， パルスフィールドゲル電気泳動
9	23. 2.17	恵那	食品	2	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの検出
			食品	2	セレウス菌嘔吐毒の検出
10	23. 2.13	岐阜	カンピロバクター	4	同定
11	23. 2.22	西濃	カンピロバクター	2	同定
12	23. 3.22	西濃	カンピロバクター	1	同定
			サルモネラ	1	同定，血清型別
合 計				249	

2) 食中毒事故防止調査事業

県内の食鳥処理場に併設される食肉処理施設からの鶏肉6検体由来のカンピロバクター6株について同定を行った。

3) レジオネラ属菌実態調査

県内入浴施設等の浴槽水20検体由来のレジオネラ属菌95株について、同定検査及び血清型別検査を実施した。その結果、すべての検体から *Legionella pneumophila* が検出された。血清型は、血清群1（7検体）、血清群6（7検体）、血清群5（5検体）、及び血清群UT（5検体）が多かった。

4) レジオネラ症患者発生に伴う検査

レジオネラ症患者発生に伴う保健所の調査において、患者利用施設の浴槽水等から検出されたレジオネラ属

菌47株(8事例)について同定検査及び血清型別検査を実施した。

5) 三類感染症の検査

パラチフスA菌1株、赤痢菌2株について同定検査及び血清型別検査、また腸管出血性大腸菌36株について同定検査、血清型別検査、及び志賀毒素検査を実施した。血清型別検査の結果は、赤痢菌が *S. flexneri* 2a 及び *S. sonnei* 各1株、腸管出血性大腸菌は O157:H7 が26株、O157:H- が2株、O26:H11 が5株、O103:H11 が2株、O157:H19 が1株であった。

6) 結核・感染症発生動向調査事業による細菌検査

感染性胃腸炎3検体、A群連鎖球菌咽頭炎2検体、バンコマイシン耐性腸球菌1検体の検査を実施した。

7) 業態者検便由来株の血清型別検査

業態者検便由来のサルモネラ1株について、同定検査及び血清型別検査を実施した。

3.2 生活科学部

3.2.1 調査研究

1) 指定薬物の分析法に関する研究

(平成21年度～22年度)

平成19年4月より、薬事法の改正に伴い指定薬物制度が施行され、厚生労働大臣が指定した「指定薬物」のうち23物質について、液体クロマトグラフトンデム型質量分析装置(LC-MS/MS)によるMS/MSスペクトルデータベースを作成した。また、健康食品中に違法に添加され健康被害を生ずる可能性のある24物質についても同様にデータベースを作成した。LCは、カラムがODS、移動相は酢酸アンモニウムメタノール系を使用した。

なお、他の衛生研究所に参考資料として供することも考慮し、LC-MS/MSのイオントラップ機能を使用したデータとイオントラップ機能を使用しないデータとの両方を登録し作成した。

2) 下呂アマドコロの残留農薬試験研究(受託研究)

(平成22年度)

下呂地域で栽培されているアマドコロは、古来より漢方や機能性食品として利用されているが、その機能性を新たな製品開発等に活用するための安全性評価試験の一つとして、残留農薬試験を実施した。その結果、栽培されたアマドコロの地上部(葉茎)および地下部(根)のすべての検体から残留農薬が検出されなかった。

3) 連携大学院

岐阜薬科大学及び保健環境研究所との連携大学院の事業として、岐阜薬科大学からは講師として微生物学研究室の森裕志教授、勝野真吾学長、薬草園研究室の酒井英二准教授、薬理学研究室内の山下弘高助教をお招きし、「感染症を引き起こす微生物とレジオネラ症感染について」、「疫学調査研究について」、「大麻・けし等薬物乱用防止対策、鑑定手法等について」、「食物アレルギー等について」の4課題をテーマとして、5月、8月、11月、2月の4回に亘って学官連携ゼミを開催した。

3.2.2 行政検査

[薬品関係]

1) 医薬品等一斉取締における規格試験

1. 溶出試験

ニトラゼパムを含有する医療用医薬品について、県内の医薬品卸売販売業者が保管する錠剤10製品及び細粒1製品(先発医薬品3製品および後発医薬品8製品)の溶出試験を実施した。その結果、全て規格に適合していた。

2. 医薬品

県内製造医薬品の内服固形製剤1検体（定量試験1項目）について収去検査を実施した。その検査結果は、規格に適合した。

2) 無承認無許可医薬品に係る医薬品成分等の試験

いわゆる健康食品と称する無承認無許可医薬品の監視として、県内のドラッグストアより買上された痩身目的の健康食品10検体及び滋養強壮目的の健康食品10検体について、LC-MS/MSにより検査を実施した。痩身目的の検体については、フェンフルラミン、N-ニトロソフェンフルラミン、シブトラミン、マジンドール等14成分の検査（定量試験延べ140項目）を、滋養強壮目的の検体については、ヨヒンビン、シルデナフィル、バルデナフィル、タダラフィル等9成分の検査（定量試験延べ90項目）を実施したが、全て検出されなかった。

3) 大麻草の有毒成分等の試験

県内大麻草栽培者から、種子採取用に残された大麻草243検体を収去し、幻覚成分である Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール及び幻覚作用を有しないカンナビジオール（定量試験486項目）の試験を実施した。

4) 登録試験検査機関における外部精度管理

ファモチジン錠（10mg）について、定量試験6回、含量均一性試験2回、システム適合性試験（分離度）2回およびシステム再現性試験（相対標準偏差）2回を実施した。

〔生活衛生関係〕

1) 家庭用品試買検査

県内で販売されている繊維製品、家庭用洗浄剤など家庭用品51検体について、有害物質の含有量試験等のべ63項目の検査を実施した（表6）。その結果、すべての製品が基準に適合していた。

表6 家庭用品検査内訳

検 体		検体数	検査項目	のべ項目数
乳幼児用繊維製品	よだれ掛け	6	ホルムアルデヒド	36
	下着	2		
	寝衣	4		
	手袋	4		
	くつした	6		
	中衣	6		
	外衣	4		
	帽子	2		
	寝具	2		
乳幼児用以外の 繊維製品	くつした	6	ホルムアルデヒド	11
	下着	4		
	外衣	1		
家庭用洗浄剤		2	水酸化カリウム又は水酸化ナトリウム、容器試験（漏水試験、落下試験、耐アルカリ性試験、圧縮変形試験）	10
家庭用エアゾル製品		2	メタノール、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン	6
計		51	計	63

2) 衛生害虫関係の検査

県内保健所からの依頼を受けて衛生害虫の鑑別を行った(5件)。その結果、それぞれの害虫はカバキコマチグモ、クロバネキノコバエ、ヒメマキムシ、ノシメマダラメイガ(幼虫)であると同定された。1件は、虫体の損傷、変形が著しく、鑑別不能であった。

3.3 環境科学部

3.3.1 調査研究

1) 岐阜県における大気汚染物質の発生要因の解明と除去に関する基礎的研究

(平成21年度～22年度)

「光化学オキシダント等大気汚染物質の発生要因の解明」として、県内の大気汚染常時監視測定局における大気汚染物質濃度の長期的な傾向を検討したところ、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質及び窒素酸化物は減少傾向にあるが、光化学オキシダントは増加傾向にあった。高濃度日の解析から、伊勢湾から内陸への海風が吹き、地域内の大気汚染物質の発生と移流が複合されると、光化学オキシダント濃度が高くなる場合があると考えられる。また、光化学オキシダントにより二次生成する浮遊粒子状物質(SPM)の挙動の解明を行うため、SPMの成分分析を行った。

「大気汚染物質の除去に関する基礎的研究」については、複合型光半導体の熱励起を利用した炭化水素等の大気汚染物質の分解に関する基礎実験と排ガス浄化システムの検討を行った。

2) 下水汚泥等から回収されたリン資源の有効利用に関する研究 (平成22年度循環型社会形成推進科学研究費)

(平成22年度～24年度)

世界的なリン資源の逼迫や主要産出国の輸出制限により、下水汚泥をはじめとする国内未利用・低利用資源からのリン回収・活用が強く求められている。このような状況下で、岐阜市の下水処理施設でもリンの資源としての回収が始まり、主に肥料としての再利用を検討している。しかし、工業用などさらに付加価値が高いリン資源の有効利用が可能になればリンのリサイクルは飛躍的に増加するものと期待される。そこで、本研究ではリン資源の有効利用特に環境浄化材料への応用を目的として、岐阜市北部プラントの協力を得て下水汚泥焼却灰から回収されたリン酸塩化合物の具体的な利用を検討することとし、名古屋工業大学および太平化学産業(株)と共同で、回収されたリン酸塩化合物の組成・形態を調べるとともに、ヒドロキシアパタイトへの形態変換とその環境浄化材料(有機ガス分解材料、染色排水脱色材)としての利用可能性を検討した。

3.3.2 委託調査

1) 東アジア酸性雨モニタリング調査(環境省委託)

伊自良湖が東アジア酸性雨モニタリングネットワークの生態影響調査地点に指定され、陸水調査、大気環境調査、降下物調査を実施した(表7)。

表7 調査項目等の概要

調査名	地 点	回 数	調 査 項 目	延項目数
陸水	湖沼水	2	pH, EC, アルカリ度, Na ⁺ , K ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , Chl-a 等	684
	河川	4		
	底質	1	NH ₄ ⁺ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ 等	
湿性降下物	1	1週間毎	pH, EC, SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , 雨量	572
乾性降下物	1	毎時測定	NO, NO ₂ , SO ₂ , O ₃ , SPM 気象データ(気温, 湿度, 風向, 風速, 日射量)	1,095
乾性降下物 (フィルターバック法)	1	2週間毎	NH ₃ , HNO ₃ , HCl, SO ₂ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ 等	312

2) 化学物質環境実態調査(環境省委託)

環境中に残留している可能性のある化学物質の挙動及び実態を把握するため, 表8に示す調査を実施した。

表8 化学物質環境汚染実態調査の概要

調査名	調査地点	調 査 項 目
モニタリング調査 (POPs条約 対象物質等の経年的なモニタ リング調査)	各務原市 (岐阜県保健環境研究所)	POPs等26物質群, N,N'-フェニル-p-フェニレンジアミン類
初期環境調査 (PRTR制度候補 物質等の環境残留状況を把握 するための調査)	各務原市 (岐阜県保健環境研究所)	酢酸-2-エトキシエチル
詳細環境調査 (化審法第2種 特定化学物質選定のための環 境残留実態把握調査)	各務原市 (岐阜県保健環境研究所)	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシ アネート

3) 環境放射能水準調査(文部科学省委託)

環境中における人工放射性物質の蓄積状況の把握及び住民の被曝線量の推定を主な目的として, 平成2年度から調査を実施している。平成22年度における平常時の環境放射能測定の概要は表9のとおりであり, 異常値等は認められなかった。また, 東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴うモニタリング強化(緊急時の環境放射能測定)の概要は表10のとおりであり, 異常値等は認められなかった。

表9 環境放射能水準調査内訳(平常時)

事 業 項 目	測定地点数	測 定 対 象	延測定回数	備 考
全ベータ放射能測定調査	1	雨水	59	降雨毎
核種分析調査	10	大気浮遊じん, 降下物, 土壌 陸水, 精米, 野菜, 茶, 牛乳	25	野菜は大根と ホウレン草
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気(ガンマ線)	365 (連続)	

表10 環境放射能水準調査内訳（緊急時）

事業項目	測定地点数	測定対象	延測定回数	備考
核種分析調査	1	降下物、蛇口水	25	3/18-
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気（ガンマ線）	20 (連続)	3/12-

4) 岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査（岐阜県環境計量証明事業協会技術支援）

調査参加機関における分析手法や分析技術の改善に貢献し、環境測定データの信頼性の確保に資することを目的として、県内の環境測定に従事する10事業所を対象とした統一精度管理調査を実施した（表11）。

表11 岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査の概要

調査試料	調査項目
模擬水質試料2種類	ふっ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分析値と分析に係る諸条件

3.3.3 行政検査

[大気関係]

1) アスベスト建材除去作業現場及び一般環境実態調査

平成18年度から飛散性及び非飛散性アスベスト建材除去作業現場の実態調査を実施して、周辺環境への影響を監視している。また、県内5地点の一般大気環境測定を実施し、大気中アスベスト濃度の把握に努めている（表12）。

表12 アスベスト実態調査内訳

実施区分	測定事業所数または測定地点数	延検体数
飛散性アスベスト建材除去作業現場	5	12
一般大気環境測定	5	15

2) 大気環境監視テレメータシステム

現在、県下18地点の大気環境自動測定局（自動車排出ガス測定局4局を含む。）で常時監視を行っている。平成22年度の環境基準達成状況は、二酸化窒素の全ての測定局で基準を達成したが、二酸化硫黄は岐阜中央局及び岐阜南部局が1時間のみ環境基準値を超過した。浮遊粒子状物質は、岐阜南部局が1時間のみ環境基準値を超過した。また、光化学オキシダントは、前年度と同様に12局全てが環境基準値を超過した。これら各測定局の毎時データは、インターネットで情報提供している（表13）。

表13 大気環境測定局及び測定項目一覧表

地 域	測 定 局 名 称	測 定 項 目								
		二酸化 硫 黄	浮遊粒 子 状 物 質	窒素酸化物		光化学 オキシ ダント	一酸化 炭 素	炭化水素		風向 風速
				一酸化 窒素	二酸化 窒素			非メタン	メタン	
岐 阜	岐 阜 中 央	○	○	○	○	○				○
	岐 阜 南 部	○	○	○	○	○		○	○	
	岐 阜 北 部	○	○	○	○	○				
	岐阜明德自排		○	○	○		○			
	各 務 原	○	○	○	○	○				○
西濃・羽島	大 垣 中 央	○	○	○	○	○				○
	大 垣 南 部	○	○	○	○	○				○
	大 垣 自 排		○	○	○					○
	羽 島	○	○	○	○	○				○
中 濃	美 濃 可 茂	○	○	○	○	○				○
	可 児 自 排		○	○	○					○
東 濃	土 岐	○	○	○	○					○
	土 岐 自 排		○	○	○					○
	瑞 浪	○	○							○
	笠 原	○	○	○	○	○				○
	中 津 川	○	○			○				○
飛 騨	高 山	○	○	○	○	○				○
	乗 鞍	○	○	○	○	○				○

3) 大気環境測定車による調査

大気環境測定車「あおぞら号」により、大気環境自動測定局未設置地域2地点における一般環境調査（表14）と、国道の周辺1地点における交通公害調査（表15）を実施した。なお、乗鞍スカイライン（昼平）については、マイカー規制実施に伴う大気環境調査として実施している。調査結果は、一般環境調査及び交通公害調査とも前年度と比較して大差なかった。

表14 一般環境調査地点

地 域	調 査 地 点
中 濃	中濃総合庁舎
飛 騨	乗鞍スカイライン(昼平)
2地点（2市）	

表15 交通公害調査地点

道 路 名	調 査 地 点
国道19号	多治見市文化会館
1路線 1地点	

[水質関係]

1) 水質環境基準監視測定（地下水）

水質汚濁防止法第16条1項の規定による水質測定計画に基づいて、地下水の概況調査（メッシュ方式）57地点、モニタリング調査49地点について環境基準項目の測定を実施した。延べ項目数は1,615であった（表16）。

表 16 地下水の水質基準監視測定の概要

振興局および事務所	概況調査 (メッシュ方式)	モニタリング調査	延項目数
岐 阜	3	9	90
西 濃	4	6	114
揖 斐	3	0	81
中 濃	8	11	227
中 事	12	7	332
東 濃	3	20	118
恵 那	10	1	271
飛 騨	14	3	382
合 計	57	57	1,615

2) 河川水、土壌および地下水の汚染事故による調査

羽島市、山県市、各務原市、大垣市、川辺町、恵那市、高山市ならびにその他で明らかにされた硫酸銅、六価クロム、総水銀、砒素、鉛、テトラクロロエチレン、ベンゼン、ふっ素、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素等による河川水、土壌ならびに地下水汚染事故に伴い、周辺の河川水や地下水の水質検査を実施した。延件数 897 件、延項目数は 1,595 であった（表 17）。

表 17 河川・土壌・地下水汚染事故に伴う調査の概要

振興局および事務所	市町村	件数	延項目数	測 定 項 目
岐 阜	羽島市、山県市、 各務原市	136	150	全窒素、六価クロム、砒素、鉛、総水銀、 ベンゼン、pH、銅、
西 濃	大垣市	320	640	六価クロム、砒素、鉛、ふっ素
中 濃	加茂郡川辺町	93	279	六価クロム、鉛、テトラクロロエチレン
飛 騨	高山市	26	26	ふっ素
恵 那	恵那市	322	500	砒素、鉛、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素 ふっ素
合 計		897	1,595	

3) フェロシルトによる土壌汚染事故に伴う地下水・土壌調査

中津川市、本巣市、その他で明らかにされたフェロシルト埋設地周辺の河川水・地下水調査、土壌の溶出試験を実施した。延件数 31 件、延項目数は 60 であった。

〔廃棄物関係〕

1) リサイクル認定製品調査

岐阜県リサイクル認定製品について、社会的信頼性の確保のための安全性を確認するため、既認定製品及び新規認定製品についての検査を実施した（表 18）。

表 18 リサイクル認定製品の調査概要

	検 体 数	延項目数
既認定製品	32	316
新規認定製品	13	135
合計	45	451

〔微量化学物質関係〕

1) ダイオキシン類モニタリング調査

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定に基づき、県内の環境大気、河川水、地下水、河川底質、発生源周辺土壌中のダイオキシン類を測定した（表 19）。

表 19 ダイオキシン類モニタリング調査

調査内容		地点数	検体数
一般 調査	環境大気	3	6
	河川水	6	6
	河川底質	4	4
	地下水	3	3
	発生源周辺土壌	12	12
追跡 調査	河川水	2	8
	河川底質	2	2
合 計		32	41

3.4 食品安全検査センター

3.4.1 調査研究

1) 食品・添加物等規格基準に関する試験検査等について(厚生労働省受託研究)

(平成 22 年度)

食品中に残留する農薬、動物用医薬品等の対策として、厚生労働省では従来から食品中の残留基準の整備拡充を行っており、平成 18 年 5 月にはポジティブリスト制度が施行された。これに伴い、「残留農薬分析法検討会」が設置され、残留基準の設定された農薬等の一斉分析法、個別分析法の検討が行われている。当所も委員の一員として参画し、平成 22 年度は、公定試験法が定まっていない農薬「プロベナゾール」個別試験法の開発を行った。

2) 蜂蜜中の残留動物用医薬品等の多成分分析法に関する研究

(平成 21 年度～22 年度)

本県は近代養蜂の発祥の地として、養蜂業が盛んであるが、ミツバチの疾病予防のために動物用医薬品が使用されることがあり、蜂蜜への残留が懸念されている。残留農薬等のポジティブリスト制度の施行に伴い、動物用医薬品についても微量レベル(0.01ppm)の基準値への適否を判定する高感度分析が求められている。蜂蜜は水分含量の少ない濃縮された天然食品で、夾雑成分を多く含んでおり、現在これに応え得る多成分分析法は確立されていない。平成 21 年度は高速液体クロマトグラフタンデム型質量分析計(LC-MS/MS)の測定条件及び蜂蜜からの動物用医薬品の抽出・精製法の検討を行った。平成 22 年度は抽出・精製法の検討を引き続き行い、確立された試験法の妥当性を評価した。試験法の有効性を検証するため、市販の蜂蜜 16 品について実態調査を行った。

3.4.2 行政検査

1) 残留抗生物質検査

抗生物質は、動物用医薬品として畜水産動物の感染治療や予防に用いられるほか、飼料の栄養成分の有効利

用を促進する目的で、飼料添加物としても使用されている。この中で使用量の多い抗生物質について牛乳11検体中のオキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリンについて残留検査を実施した結果、いずれの検体からも抗生物質は検出されなかった。

2) 残留合成抗菌剤

国内で生産されている鶏卵11検体（県内産9検体、県外産2検体）について、サルファ剤5種（スルファチアゾール、スルファメラジン、スルファジミジン、スルファモノメトキシシ、スルファジメトキシシ）とトリメトプリムの残留検査を実施した結果、いずれも不検出であった。

3) 重金属検査

県内で生産された玄米3検体についてカドミウムの検査を行った。その結果、0.02ppm(1検体)、0.03ppm(2検体)であり、成分規格基準(1.0ppm未満)に適合していた。

4) 残留農薬検査

食品衛生法の残留農薬基準が大幅に改正され、新たにポジティブリスト制の導入がなされ、平成18年5月29日から施行された。平成22年度はポジティブリスト制の導入により、前年度より項目数を増やして検査を行った。

平成22年度は県内産農産物65検体、県外産農産物2検体、牛乳4検体の計71検体について延べ13,142項目の検査を実施した。その結果、いずれの検体からも基準値以上の農薬は検出されなかった(表20)。

表20 残留農薬の検査結果

試料名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産野菜	44	8,528	アセタミプリド(0.008～0.057ppm/3検体)、イプロメチン(1.5ppm/1検体)、エトフェンプロックス(0.084ppm/1検体)、キプロタ(0.087ppm/1検体)、クロルフェナピル(0.039ppm/1検体)、シラフルフェン(0.035ppm/1検体)、トリクロロ(0.014～0.16ppm/2検体)、トルクロスチル(0.0032ppm/1検体)、ピリタベン(0.005ppm/1検体)、フェニトロチン(0.003ppm/1検体)、フェンピロキシメート(0.012ppm/1検体)、フルフェノキサロ(0.022ppm/1検体)、ベンデメタリン(0.004～0.007ppm/2検体)、ホスカリド(0.089ppm/1検体)、マラチン(0.002ppm/1検体)、ミクロタニル(0.0087ppm/1検体)
県内産果実	16	3,208	アセタミプリド(0.008～0.026ppm/2検体)、アジキストロピン(0.028ppm/1検体)、エチザン(0.012ppm/1検体)、クロキシメチル(0.003～0.015ppm/2検体)、シアゾファミド(0.062ppm/1検体)、ジフェノコナール(0.049ppm/1検体)、ネトラン(0.003ppm/1検体)、ピリタベン(0.004ppm/1検体)、ピフェントリン(0.0005ppm/1検体)、ピラクロストロピン(0.014ppm/1検体)、フェナリル(0.004ppm/1検体)、フェニトロチン(0.004ppm/2検体)、フェンプロトリン(0.062～0.074ppm/2検体)、プロプロフェン(0.005ppm/1検体)、プロチオス(0.0015ppm/1検体)、ヘキサコナール(0.003ppm/1検体)、ヘキサゾックス(0.061ppm/1検体)、ホスカリド(0.027ppm/1検体)
県内産穀類	3	606	プロモプロチド(0.003ppm/1検体)
県内産茶	2	380	アクリナリン(0.006ppm/1検体)
県外産農産物	2	404	全て不検出
牛乳	4	16	全て不検出

5) PCB検査

PCB汚染として最も重要なものとして考えられる食品のうち、鶏卵2検体について検査を実施した。測定結果はすべて不検出であった(表21)。

表 21 食品中に残留する PCB

食 品 名	検 体 数	検 査 結 果	暫定的規制値
鶏 卵	2	不検出	0.2ppm

6) 陶磁器製器具の規格試験

県内産陶磁器製品 45 検体についてカドミウム及び鉛の溶出試験を行った結果を表 22 に示した。カドミウム及び鉛について、全ての検体で規格に適合していた。

表 22 陶磁器の規格及び検査結果

区 分		規 格		不適/検体		
		鉛	カドミウム		鉛	カドミウム
深形のもの (深さ2.5 cm以上)	容量1.1ℓ以上	1ppm	0.25ppm	0/5	不検出	不検出
	容量1.1ℓ未満	2ppm	0.5ppm	0/26	不検出～0.5ppm	不検出～0.05ppm
浅形のもの(深さ2.5 cm未満)		8μg/cm ²	0.7μg/cm ²	0/14	不検出	不検出

7) 輸入食品の検査

1. 残留農薬検査

野菜 37 検体, 果実 6 検体, 豆類 15 検体, 熱帯産果実 11 検体, かんきつ類果実 8 検体, 穀類 2 検体, 種実類 3 検体, 茶 2 検体の計 84 検体について延べ 16,584 項目の残留農薬の検査を実施した。全ての検体から基準値以上の農薬は検出されなかった(表 23)。

表 23 残留農薬の検査結果

試料名	検体数	検査項目数	検査結果	試料名	検体数	検査項目数	検査結果
アーモンド	1	202	不検出	ごま	2	380	不検出
小豆	1	202	不検出	小麦粉	2	404	クロピリホスメチル(0.0009～0.0038 ppm/2検体)
アスパラガス	4	796	ブロマシル(0.001ppm/1検体)	ぶどう	2	392	イミダクロフリト(0.008～0.16ppm/2検体), ビフェントリン(0.0006ppm/1検体), ピラクストロビン(0.13 ppm/1検体), ホスカリト(0.23ppm/1検体), フェノカルブ(0.034ppm/1検体), ブプロフェジン(0.29ppm/1検体)
ウーロン茶	1	190	アセタミフリト(0.12ppm/1検体), イミダクロフリト(0.15ppm/1検体), エントスルファン(0.083ppm/1検体), クロルフェナピル(0.013ppm/1検体), フェノカルブ(0.034ppm/1検体), ブプロフェジン(0.29ppm/1検体)				イマザリル(1.4ppm/1検体), チアベンタゾール(0.83ppm/1検体)
えんどう	1	190	不検出	オレンジ	1	190	イマザリル(0.30～5.0ppm/4検体), オルトフェニルフェノール(0.05～2.0ppm/2検体), チアベンタゾール(0.39～0.085ppm/2検体), クロピリホス(0.014～0.038ppm/2検体), ピラクストロビン(0.013～0.021ppm/2検体), ピリプロキシフェン(0.0013～0.0089ppm/2検体)
かぼちゃ	4	784	ビフェントリン(0.0054ppm/1検体), ミクロブタニル(0.021ppm/1検体)	グレープフルーツ	4	784	イマザリル(0.30～5.0ppm/4検体), オルトフェニルフェノール(0.05～2.0ppm/2検体), チアベンタゾール(0.39～0.085ppm/2検体), クロピリホス(0.014～0.038ppm/2検体), ピラクストロビン(0.013～0.021ppm/2検体), ピリプロキシフェン(0.0013～0.0089ppm/2検体)
グリーンピース	1	202	不検出				
紅茶	1	190	チアベンタゾール(0.008ppm/1検体), エントスルファン(0.064ppm/1検体)				
さといも	2	404	不検出				
しいたけ	1	190	不検出				
しょうが	2	392	不検出				
じゅんさい	1	202	不検出				

試料名	検体数	検査項目数	検査結果	試料名	検体数	検査項目数	検査結果
たけのこ	2	392	不検出	ライム	1	190	イマザリル(0.33ppm/1検体), 2,4D(0.009ppm/1検体)
たまねぎ	1	190	不検出	レモン	2	392	イマザリル(2.3~2.8ppm/2検体), 2,4D(0.13ppm/1検体), クロルピリホス(0.016ppm/1検体), フラベンゾベンゾール(0.69ppm/2検体)
とうもろこし	3	606	不検出	アボカド	4	796	ヘルメトリン(0.007ppm/1検体)
にんじん	1	190	トリアジメノール(0.038ppm/1検体)	キウイ	1	190	不検出
にんにく	3	582	不検出	ハチツプル	4	784	不検出
ニンニクの芽	2	404	プロシメトン(0.01~0.02ppm/2検体), ヘンテメタリン(0.002ppm/1検体)	バナナ	2	392	クロルピリホス(0.046ppm/1検体)
パプリカ	2	392	アゼキストロビン(0.007ppm/1検体), アセタミフロート(0.028~0.086ppm/2検体), イミダクロフロート(0.13ppm/1検体), イントキサカルブ(0.073ppm/1検体), イプロシオン(0.27ppm/1検体), クロルフェナピール(0.047~0.073ppm/2検体), フラクロフロート(0.10ppm/1検体), フラメキサム(0.078ppm/1検体), ピリタベン(0.041ppm/1検体), ホスカリト(0.12~0.23ppm/2検体)	ブルーベリー	1	202	キャプタン(0.029ppm/1検体), シプロジニル(0.06ppm/1検体), ピラクロストロビン(0.008ppm/1検体), ホスカリト(0.055ppm/1検体), マラチオン(0.002ppm/1検体)
ブロッコリー	4	796	ピラクロストロビン(0.062ppm/1検体), プロプロフェジン(0.005ppm/1検体)	メロン	2	404	ピフェントリン(0.0034~0.0067ppm/2検体), イミダクロフロート(0.007ppm/2検体)
ほうれんそう	3	606	イミダクロフロート(0.005ppm/1検体), フルフェノクスロン(0.031ppm/1検体)	いんげん	3	606	アセタミフロート(0.010ppm/1検体), アゼキストロビン(0.005ppm/1検体), トリアジメノール(0.010~0.012ppm/2検体)
れんこん	1	202	不検出	えだまめ	5	998	アセタミフロート(0.009ppm/1検体), イントキサカルブ(0.018ppm/1検体), エトフェンプロックス(0.033~0.064ppm/2検体)
大豆	3	606	不検出	バター豆	1	190	不検出
ねぎ	1	190	不検出				

2. 食品添加物検査

わが国は、食料品の多くを海外に依存しているが、それらに使用される食品添加物の使用基準は国際的に不統一であるため、国内基準に合わない食品が輸入販売されている可能性がある。そこで、検査所における検査結果等から、違反事例の多い項目を重点的に選んで、表24に示す検査を21検体について実施した。その結果、すべて基準に適合していた。

表 24 輸入食品中の食品添加物検査結果

食 品 名	原 産 国	検体数	検査項目数	検査項目	検査結果
菓 子	オーストリア	1	12	サイクラミン酸 <i>tert</i> -ブチルヒソジン	不検出
	スペイン	1			不検出
	スウェーデン	1			
	フィリピン	1			
	デンマーク	1			
	アメリカ	1			
漬 物	中国	2	5	サイクラミン酸	不検出
シロップ漬け	インドネシア	1			
	中国	1			
清涼飲料水	南アフリカ	1	20	オルトフェニルフェノール チアベンダゾール	不検出～0.002 g/kg 不検出～0.0009 g/kg
オレンジ	オーストラリア	1			
グレープフルーツ	南アフリカ	2			
	アメリカ	2			
レモン	アメリカ	2			
ライム	メキシコ	1			
バナナ	フィリピン	2			
合 計		21	37		

3. 残留抗生物質検査

輸入ハチミツ5検体について残留抗生物質（オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン、テトラサイクリン）の検査を実施した結果、すべて不検出であった。

4. 残留合成抗菌剤検査

輸入ウナギ加工品3検体についてマラカイトグリーン、ロイコマラカイトグリーンの残留検査を実施した結果すべて不検出であった。また輸入エビ8検体についてサルファ剤5種（スルファチアゾール、スルファメラジン、スルファジミジン、スルファモノメトキシ、スルファジメトキシ）とトリメトプリムの残留検査を実施した結果、いずれも不検出であった。

5. アフラトキシン検査

アフラトキシンは、代表的なカビ毒であり、ナッツ類、香辛料等に含有されている可能性がある。そこで輸入ナッツ類5検体、赤唐辛子2検体についてアフラトキシンの検査を実施した結果、いずれの食品からも検出されなかった。

6. リステリアの検査

輸入ナチュラルチーズ5検体についてリステリア菌の分離検査を実施した結果、いずれの検体からも検出されなかった。

8) 遺伝子組換え食品検査

ジャガイモ加工品(8検体)、輸入大豆(8検体)、トウモロコシ穀粒および加工品(16検体)の検査を実施した。いずれも組換え遺伝子は不検出であった。

9) 特定原材料(アレルギー物質) 検査

表示以外の特定原材料物質の使用の有無について、確認の検査を実施した。小麦(12検体)、乳(11検体)、そば(9検体)の検査を実施した結果、そばの検査で1検体が陽性であった。

10) 緊急検査

食品中の化学物質が原因と思われる食中毒事例及び異味・異臭等の苦情に係る食品について、保健所からの依頼検査を実施した。

平成23年1月、スキー場でたこ焼きを食べた6名が気分の悪さを訴え病院で診察を受けた。6名は同一グループで25～26歳(男性4名、女性2名)。症状はいずれも軽く悪心のみでおう吐・下痢などの症状はなかった。患者から、たこ焼きを食べた際、天かすからシンナーのような異臭がしたとの申し出があったため、検査を行った結果、トルエンなどの刺激臭の原因となる有機溶剤成分を検出した。

平成23年2月には、中学校で調理実習喫食後、体調不良(嘔吐、吐気)を訴える事例が発生した。発症が短時間であるため、毒素型の食中毒が疑われ、セレウリドの検査を実施したが、検出されなかった。

4 技術指導及び支援

4.1 保健所検査担当者等の研修

年 月 日	研 修 内 容	受 講 者	担当部
H22年 5月 7日	平成22年度公害関係立入検査務研修会（講義，実習）	振興局環境課職員等(30名)	環境科学部
6月 3日 ～ 6月 4日	第1回保健所試験検査担当者研修会（講義，実習）	保健所等(7名)	保健科学部
10月21日 ～ 10月22日	第2回保健所試験検査担当者研修会（講義，実習）	保健所等(7名)	食品安全検査センター
H23年 2月18日	第3回保健所試験検査担当者研修会（講義）	保健所等(23名)	保健科学部 食品安全検査センター

4.2 講師派遣

「研修講師等」

年 月 日	内 容	場 所	受 講 者	担当者
H22年 9月10日 ～ 9月11日	薬剤耐性菌解析機能強化技術研修会	武蔵村山市	地方衛生研究所研究員(27名)	白木(豊)
11月22日	環境医学(集中講義)	岐阜大・医	医学部6年生 (80名)	高原
H23年 3月 7日	環境医学(集中講義)	岐阜大・医	医学部2年生 (80名)	高原

「出前講演」

年 月 日	内 容	場 所	受 講 者	担当者
H22年 5月18日	ウイルスによる感染症について	各務原市	ライフカレッジ那加東 受講生 (46名)	葛口
5月19日	ウイルスによる感染症について	各務原市	ライフカレッジ那加東 受講生 (38名)	葛口
6月 1日	生活の中における	北方町	北方南小PTA (30名)	高原
6月 4日	水と環境	安八町	安八町立登龍中学校 1年生 (133名)	岡(正) 佐々木
6月11日	・身近な環境問題と地球環境 ・新エネルギー・省エネルギー	各務原市	岡村機工(株)社員 (27名)	西川 林
7月 6日	カワゲラウォッチング	海津市	海津市立城山小学校 4年生 (52名)	岡(正) 鈴木 佐々木
9月 3日	保健環境研究所の紹介	岐阜市	分析化学会岐阜地区講演会 参加者 (20名)	西川
10月18日 10月25日 10月26日 11月 1日	VOC処理技術と分解処理装置の開発	富山市 四日市市 名古屋市 岐阜市	中部経済産業局VOC対策セ ミナー受講者 (計140名)	西川 高原
11月12日	食品安全・安心シンポジウム	各務原市	一般市民 (66名)	原

「所内見学」

年 月 日	団 体 名	人 数	見学先
H22年 6月17日	各務原市 動く市民教室「食の安全・安心について」	23	食品安全検査センター
10月12日	御嵩町生涯学習講座「食の安全・安心について」	50	食品安全検査センター
H23年 1月27日	岐阜大学応用生物科学部獣医学科課程学生	33	所全体

4.3 研修生の受入

年 月 日	研 修 内 容	受 講 者	担当者
H22年 4月13日 ～H23年 3月31日	フロン類の分析技術	上田石灰製造(株) 武田智也	岡(隆)
H22年 7月 2日 ～H23年 3月31日	VOCガスの測定方法	(株)ヤマセ 大森江理	西川
H22年 8月30日 ～ 9月 3日	地下水汚染の現状と分析方法	岐阜大学学生 遠藤雄一郎	岡(正) 佐々木 金森
H22年 9月13日 ～ 9月17日	微生物検査業務	岐阜大学学生 (応用生物科学部獣医学課程)	小林

4.4 技術支援(現場での指導等)

年 月 日	研 修 内 容	受 講 者	担当者
H22年 6月10日	垂炭による果物の鮮度保持について	(株)トーケンヒロミ	高原
6月25日	塩素ガス簡易測定方法について	(財)公衆衛生検査センター	西川
6月29日 ～H23年 3月 3日	岐阜県医薬品等GXP研究会 ・総会 ・医薬品等GVP、GQP、GMPに関連した 「教育訓練」に関する調査研究及び「教育訓練手 順書・教育訓練教材」を作成 ・成果報告会	岐阜県医薬品等GXP研究会	多田
H22年 7月29日 9月 8日	VOC及び悪臭対策について	トヨタ紡織(株)	高原
8月 3日 9月29日	行政検査に関する立入り指導	民間測定機関	岡(正) 佐々木
8月24日	CS ₂ の環境測定について	フタムラ化学(株)	高原
8月26日	VOC測定方法およびサンプリング方法について	岐阜市衛生試験所	西川
10月27日	プラスチックフィルム燃焼時の発生ガス分析方法について	岐阜大学工学部	西川 高原
12月22日	清酒の異臭分析	産業技術センター	高原 大塚
H23年 2月 2日	岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査結果 報告会	岐阜県環境計量証明事業協 会	金森 佐々木
2月22日	食品中の残留農薬分析法について	(株)イビデン物産	大塚 南谷
3月 7日	黄砂の高濃度日について	大垣市環境衛生課	林
3月17日	「おいしい水」に関する相談	県産業経済振興センター	西川 佐々木
3月17日	メタン濃度の経年変化について	岐阜市自然環境課	林

4.5 来所者等への個別指導

所属機関	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
県 関 係	8	4	32	5
市 町 村	0	1	9	1
そ の 他	2	0	63	2
計	10	5	104	8

※民間検査機関、製造業者等を含む。

5 行 事

5.1 会議等

年 月 日	会 議 名	場 所	出席人数
22. 4.14	市町村等環境保全担当者打ち合わせ会議	岐阜市	1
4.15	環境行政会議	岐阜市	2
4.16	第1回試験研究機関所長会議	岐阜市	1
4.16	保健所等関係課長会議	岐阜市	4
4.20	岐阜県工業会第1回幹事会	各務原市	1
4.23	第1回保健所長等会議	岐阜市	1
4.27	保健所等生活衛生関係担当チーフ会議	岐阜市	4
5.13~14	C型研究全体研究会	つくば市	1
5.20	第1回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
5.20	地研全国協議会東海・北陸支部総会東海ブロック総会	四日市市	1
5.21	保健所試験検査担当チーフ会議	岐阜市	2
5.21	保健環境研究所における行政検査の実施に係る意見交換会	岐阜市	5
5.25	平成22年度衛生微生物技術協議会総会	鹿児島市	2
5.26	厚生労働省感染症流行予測調査事業担当者会議	鹿児島市	2
5.25~26	衛生微生物技術協議会第31回研究会	鹿児島市	2
5.26	第19回環境化学討論会班長会議	春日井市	1
5.27	保健所試験検査担当チーフ会議	岐阜市	2
5.31	岐阜県工業会第2回幹事会	各務原市	1
5.31	環境月間記念講演会	岐阜市	2
6. 3	全国地衛研所長会議	東京都	1
6. 4	全国衛生化学技術協議会理事会	東京都	1
6.18	地研全国協議会東海・北陸支部総会	津市	1
6.23	全環研東海近畿北陸支部共同調査(酸性雨)会議	奈良市	1
6.25	第2回保健所長等会議	岐阜市	1
7. 6	東海地区環境試験研究機関会議	四日市市	1
7.22	岐阜県土壌・地下水汚染対策検討会	岐阜市	2
7.28	残留農薬等分析法検討会	東京都	2
7.29	試験研究機関所長会議	美濃市	1
7.30	全国環境研東海近畿北陸支部役員会	大阪府	1
7.30	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	武蔵村山市	1
8.11	第2回試験研究機関所長会議	岐阜市	1
8.23	第2回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
9.14	地方衛研東海北陸ブロック会議	名古屋市	1
9.24	第3回保健所長等会議	岐阜市	1
10. 1	地衛研東海北陸ブロック広域連携検討会	名古屋市	1
10. 6	岐阜県工業会第4回幹事会	各務原市	1
10.14	リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
10.18	東海地区環境試験研究機関会議大気騒音分科会	静岡市	1
10.26	第61回地方衛生研究所全国協議会総会	東京都	1
11. 4~ 5	地衛研東海北陸ブロック微生物部門専門家会議	名古屋市	1
11.11	全国衛生化学技術協議会総会	神戸市	1
11.19	東海地区環境試験研究機関会議水質分科会	静岡市	2
11.26	第4回保健所長等会議	岐阜市	1
12. 2	全国環境研協議会廃棄物専門部会	名古屋市	1
12.10	地方衛研東海北陸ブロック会議	名古屋市	1
12.16	平成22年度岐阜市精度管理員会	岐阜市	1
12.21	東海地区環境試験研究機関会議化学物質分科会	岐阜市	1
23. 1.12	岐阜県工業会第5回幹事会	各務原市	1
1.17	東海地区環境試験研究機関会議企画運営情報分科会	浜松市	1

年 月 日	会 議 名	場 所	出席人数
1.28	第5回保健所長等会議	岐阜市	2
2. 8	リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
2.10	国設酸性雨・大気環境測定所担当者会議	東京都	1
2.15	酸性雨モニタリング（陸水）調査説明会	東京都	1
2.15	岐阜県工業会技術委員会	各務原市	1
2.18	全環研東海近畿北陸支部近畿ブロック有害物質部会	神戸市	1
3. 3～ 4	地衛研東海北陸支部微生物部会	福井市	4
3. 8	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	富山市	1
3. 9	岐阜県工業会第6回幹事会	各務原市	1
3. 9	環境省産学官モデル事業合同会議	東京都	1
3.11	第6回保健所長等会議	岐阜市	1
3.17	第3回試験研究機関所長会議	岐阜市	1

5.2 研修会等

年 月 日	研 修 名	場 所	出席人数
22. 4.20～23	環境放射能分析研修(前処理等)	千葉市	1
5.11	微量 PCB 分析技術セミナー	東京都	1
5.27	水質分析セミナー	岐阜市	3
5.27～28	新任主査級研修	岐阜市	1
6.12	市民においセミナー	大阪市	1
6.15～23	環境放射能分析研修	千葉市	1
6.18	国際規制物質に関する講習会	大阪市	1
6.24～25	県食品衛生監視員研修会	岐阜市	2
6.28	分析技術講演会	名古屋市	1
6.29	環境大気中におけるアスベスト測定法セミナー	東京都	1
7. 6～ 7	新任課長級研修	岐阜市	1
7. 9	GC・LC分析基礎講座	名古屋市	2
7.29	第3回リン資源リサイクルシンポジウム	名古屋市	2
8. 4～ 5	新任課長級(福祉施設体験)研修	岐阜市	1
8. 5	I S O内部環境監査員研修会	岐阜市	1
8.11	所属長研修	岐阜市	1
8.19	元素分析セミナー2010	岐阜市	1
9. 3	東海北陸ブロック食品衛生監視員研修会	岐阜市	6
9. 9～12	薬剤耐性菌解析機能強化技術研修会	武蔵村山市	1
9.13	科研費補助金公募要領等説明会	名古屋市	1
9.17	放射線取扱主任者定期講習	大阪市	1
9.27～29	セレウリド定量試験研修	名古屋市	1
10.15	2010 土壌地下水環境展	東京都	1
10.20～21	びわ湖環境ビジネスメッセ	長浜市	2
10.28～29	下水汚泥の有効利用に関するセミナー	金沢市	1
10.28～29	新任主査級研修	岐阜市	2
11. 5	第54回岐阜県公衆衛生研修会	大垣市	2
11. 5	日本食品衛生協会公開講演会	東京都	1
11.10～12	主事級4年目研修	岐阜市	1
11.12～13	全国衛生化学技術協議会年会	神戸市	3
11.15～16	第37回環境保全・公害防止研究発表会	さいたま市	1
11.18	第4回リン資源リサイクルシンポジウム	東京都	1
11.24	地方衛生研究所全国協議会自然毒部会研究発表会	京都市	3
12. 1	平成22年度H A C C P普及推進大会	岐阜市	2
12. 2	LC/MS/MS シンポジウム	豊中市	1
12. 7	平成22年度循環型社会形成推進研究発表会	大阪市	1

年 月 日	研 修 名	場 所	出席人数
12. 7	ダイオネクス技術説明会	名古屋市	1
12. 8～10	バイオセーフティ技術講習会	東京都	1
12.14	第3回環境技術研究会講演会	各務原市	2
12.14～15	LC/MS/MS オペレーション研修	八王子市	1
12.15	感染症・食中毒の疫学研修会	岐阜市	5
23. 1. 6	研究機関研究員研修会	笠松町	2
1.13～14	化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都	2
1.17	日本薬学会東海支部特別講演会	名古屋市	1
1.20～21	全環研東海近畿北陸支部 支部研究会	名古屋市	2
1.20～21	公衆衛生情報研究協議会研究会	名古屋市	1
1.21	第56回日本水環境学会セミナー	東京都	1
1.26～27	全国都市清掃会議研究・事例発表会	岡山市	1
2. 3～ 4	地衛研東海・北陸支部衛生化学部会	岐阜市	8
2. 4	名古屋市環境科学研究所調査研究発表会	名古屋市	1
2.18	森林研究所成果発表会	美濃市	1
2.21	産業総合研究所中部センター講演会	名古屋市	1
2.24～25	希少感染症診断技術研修会	東京都	2
2.25	指定薬物分析研修会	東京都	1
2.28	生活衛生関係技術担当者研修会	東京都	1
3. 3	平成22年度岐阜県医薬品等製造販売・製造業者講習会	各務原市	2
3. 9	イオンクロマトグラフトレーニング研修	名古屋市	1
3. 9	医薬品溶出セミナー	大阪市	1
3.11	平成22年度放射能分析確認調査技術討論会	東京都	2

5.3 学会等

年 月 日	学 会 名	場 所	出席人員
22. 5.13～14	第99回日本食品衛生学会学術講演会	東京都	1
6.17～18	第16回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	仙台市	1
6.21～22	第19回環境化学討論会	春日井市	3
7.24	第56回東海公衆衛生学会	岐阜市	3
8. 3	エアロゾル科学技術検討会	名古屋市	1
8.11	水環境学会中部支部 H22 年度総会・講演会	名古屋市	2
9. 3	平成22年度全環研東海近畿北陸支部総会	富山県	1
9. 8～10	第51回大気環境学会年会	豊中市	2
9.16～17	第100回食品衛生学会学術講演会	熊本市	1
10. 4～ 5	第33回農薬残留分析研究会	千葉市	1
10. 6～ 8	第20回無機リン化学討論会	仙台市	1
10.27～28	第64回日本公衆衛生学会総会	東京都	1
11. 4～ 6	廃棄物資源循環学会研究発表会	金沢市	1
11. 4～ 5	無機マテリアル学会第121回学術講演会	仙台市	1
11.11～12	第31回日本食品微生物学会学術総会	大津市	1
11.11～12	第47回全国衛生化学技術協議会年会、理事・幹事会	神戸市	3
11.23	第43回東海薬剤師学術大会	静岡市	1
11.27	大気環境学会中部支部講演会	岐阜市	4
12. 2	第52回環境放射能調査研究成果発表会	東京都	1
12. 8～10	第83回日本生化学会大会・第33回日本分子生物学会年会 合同大会	神戸市	1
23. 1. 8～ 9	第22回日本臨床微生物学会	岡山市	1
2. 1～ 2	第39回全国環境研協議会総会	東京都	1

5.4 講演会等

[保健環境研究所研究成果発表会]

平成23年2月25日 健康科学センター(保健環境研究所)「ハイビジョンシアター」

- 1 MLVA 法による腸管出血性大腸菌 0157 の疫学解析
- 2 最近 10 年間に実施した衛生害虫の同定検査について
- 3 蜂蜜中に残留する動物用医薬品の多成分同時分析
- 4 岐阜県における大気汚染物質濃度の変化
- 5 岐阜県下における砒素汚染地下水の水質特性事例

特別講演 (全国環境研協議会長表彰 受賞講演)

6 検査備品及び図書等

6.1 主要検査備品

品 名	規 格	数量	購入年度	所属
リアルタイムPCR	Applied Biosystems StepOnePlus™	1	H. 21	保健
ユニバーサル冷却遠心機	クボタ 5922	1	H. 21	保健
RNA自動抽出装置	QIAGEN QIAcube	2	H. 21	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538D	1	H. 21	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538	1	H. 21	保健
電子天秤	ザルトリウス MSE2203P	1	H. 21	保健
マイクロ冷却遠心機	クボタ 3780	1	H. 21	保健
オートクレーブ	トミー LSX-300	1	H. 21	保健
超音波洗浄装置 超音波発振器	日立国際電気エソジニアック U0600PB-26	1	H. 21	保健
超音波洗浄装置 超音波洗浄槽	日立国際電気エソジニアック UT-50PA	1	H. 21	保健
高圧滅菌器	平山製作所 HV-85	1	H. 19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538	1	H. 19	保健
感染動物飼育装置	日本クレア FRPバイオ2000	1	H. 19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U338	1	H. 19	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-393AT	1	H. 18	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-593AT	1	H. 18	保健
薬用保冷库	サンヨー MPR-414FS	1	H. 18	保健
遺伝子増幅装置	BIO-RAD iCycler	1	H. 18	保健
倒立顕微鏡	オリンパス CKX41N-31RC	1	H. 18	保健
冷却遠心器	KUBOTA 5922	1	H. 18	保健
顕微鏡用デジタルカメラセット	オリンパス FX-380-1	1	H. 18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー MCO-36AIC	1	H. 18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー MCO-36AIC (UV)	1	H. 18	保健
遺伝子増幅装置	ABI Gene Amp PCR System 9700	1	H. 17	保健
ゲル撮影装置	TOYOBO FAS-III	1	H. 17	保健
Nano Drop (スペクトロメーター)	Nano Drop ND-1000	1	H. 17	保健
冷却遠心機	クボタ 5922	1	H. 17	保健
オートクレーブ	トミー SX-300	1	H. 16	保健
オートクレーブ	トミー SX-500	1	H. 16	保健
インキュベーター	サンヨー MIR-153	1	H. 16	保健
遺伝子基本配列入力解析装置	日立 DNASISpro	1	H. 16	保健
ハイブリダイゼーション反応恒温槽	Hitachi Software KW0-015	1	H. 16	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DRIII	1	H. 16	保健
バイオフィロメーター (マイクロ遠心機用)	クボタ AT-2730M	1	H. 15	保健
PCR装置	バイオラッド iCycler 170-8720JA	1	H. 15	保健
メディカルフリーザー	サンヨー MDF-U537	1	H. 15	保健
SARSコロナウイルス検出用測定装置	ループアンプ LA-320C	1	H. 15	保健
冷却遠心機	クボタ 5922	1	H. 14	保健
感染性医療廃棄物用高圧滅菌機	トミー MSS-325	1	H. 14	保健
DNA解析装置一式	ベックマンCEQ8000	1	H. 14	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-192	2	H. 13	保健
遺伝子迅速検出システム	東京インスツルメンツ DNAscope4他	1	H. 13	保健
ゲルイメージング解析システム	日本バイオ・ラッド	1	H. 12	保健
マイクロプレートデータ解析システム	日本バイオ・ラッド	1	H. 12	保健
遺伝子増幅装置	タカラ TP3000	1	H. 10	保健
高速冷却遠心分離器	日立 CR21F	1	H. 10	保健
超低温フリーザー	三洋電機 MDF-1155ATN他	1	H. 9	保健
DNA一次構造解析装置	ファルマシア	1	H. 8	保健
超音波洗浄装置	シャープ MU-624	1	H. 8	保健

品 名	規 格	数量	購入年度	所属
落射型蛍光顕微鏡	オリンパス BX-60	1	H. 8	保健
濃縮遠心機	サーバント AES-100	1	H. 7	保健
ミリポリア超純水装置	日本ミリポリア RX12α	1	H. 7	保健
超低温槽	サンヨー MDF-792AT	1	H. 6	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DR	1	H. 6	保健
遺伝子増幅装置	パーキンエルマ PCRシステム 9600	1	H. 5	保健
微量冷却遠心機	トミー MRX-150	1	H. 5	保健
超遠心分離器	日立 HIMAC CP-70G	1	H. 4	保健
自動分注器	三光純薬 SGR-200	1	H. 3	保健
超低温槽	サンヨー MDF-590AT	1	H. 2	保健
マイクロプレートリーダー	バイオラッド 3550	1	H. 1	保健
オートダイリユーター	三光純薬 SPR-2	1	H. 1	保健
炭酸ガス培養器	サンヨー MCO-96	1	S. 63	保健
微分干渉顕微鏡	ニコン XF-NT21	1	S. 58	保健
廃水処理対策システム付エバポレーター	EYELA NVC-1100 SB-1000 CCA-1100	1	H. 13	生活
液滴向流クロマトグラフ	東京理化 普及型DCCシステム	1	H. 13	生活
蒸留水製造装置	アドバンテック東洋 GSH-500	1	H. 12	生活
超低温フリーザー	サンヨー MDF-U581	1	H. 12	生活
HPLCデータ解析システム	日本分光	1	H. 12	生活
高速液体クロマトグラフ	島津 LC-10AD	1	H. 4	生活
高速液体クロマトグラフ	アジレント LC-1100	1	H. 12	生活
旋光度計	日本分光 P-1020GT	1	H. 10	生活
二波長クロマトスキャナー	島津 CS-910	1	H. 4	生活
崩壊試験器	宮本理研工業 HM-2F型	1	H. 4	生活
溶出試験器	バンケル VK-7000	1	H. 16	生活
分光光度計	日本分光 V-650	1	H. 18	生活
マイクロプレートリーダー	バイオラッド モデル680	1	H. 18	生活
真空凍結乾燥器	アドバンテック VF-350	1	H. 12	生活
高分解能ガスクロマトグラフ質量 分析装置ワークステーション	日本電子(株)MStationPC	1	H. 21	環境
メカニカル制御攪拌機	IKA社製 RW20デジタル	1	H. 21	環境
ハンディタイプ溶存酸素計	HORIBA製 OM-51-10	1	H. 21	環境
一酸化炭素メーター	BK PRECISION製 627	1	H. 21	環境
ホルムアルデヒド簡易測定器	新コスモス電機 XP-308B	1	H. 20	環境
イソクロマトグラフ分析装置ワークステーション	日本タリネクス Chromeleon CM6.8	1	H. 20	環境
卓上型超音波洗浄器	(株)エスエヌティ US-108	1	H. 20	環境
ICP発光分光分析装置用オートサ ンプラー・ワークステーション	サーモエレクトロン(株) ASX-260	1	H. 20	環境
ハイボリウムエアサンプラー	シバタ HV-1000F	1	H. 19	環境
高感度可燃性ガス検知器	新コスモス電機 XP-3160	1	H. 19	環境
天秤	ザルトリウス LA130S-F	1	H. 19	環境
VOC分析計	島津製作所 VMF-1000 (FID式)	1	H. 18	環境
複合ガス測定器 (CO・CO2モニター)	光明理化学工業 UM-280L	1	H. 18	環境
誘導結合プラズマ質量分析計	Agilent 7500ce	1	H. 18	環境
Ge半導体検出器一式	セイコー GEM25P4	1	H. 18	環境
ガスクロマトグラフ装置	島津GC2014 (FPD)	1	H. 17	環境
位相差顕微鏡	ニコン ECLIPSE80i	1	H. 17	環境
低バックグラウンド放射能自動測定装置	キャンベラ 5-XLB	1	H. 17	環境
Ge半導体核種分析装置	セイコー MCA7600	1	H. 17	環境
ガスクロマトグラフ (TCD)	島津 GC8A	1	H. 15	環境
高速液体クロマトグラフ	島津 HPLC VP-10	1	H. 15	環境

品 名	規 格	数量	購入年度	所属
赤外分光光度計	日本分光 F T I R	1	H. 14	環境
ガスクロマトグラフ	日立 G 3 0 0 0	1	H. 14	環境
イオンクロマトグラフ	島津 H I C - S P	1	H. 14	環境
悪臭測定装置	島津 14 B F F p	1	H. 14	環境
いおう酸化物・粉じん自動測定記録計	東亜 D K K G R H - 106, DUB-12	1	H. 14	環境
冷凍遠心機	クボタ 5 9 3 0	1	H. 13	環境
高速自動濃縮装置	柴田科学 5 4 1 0 - 0 3	1	H. 13	環境
E C D 検出器付ガスクロマトグラフ	アジレント 6 8 9 0 N	1	H. 13	環境
メディカルフリーザー	サンヨー M D F - U 4 4 2	1	H. 12	環境
真空低温乾燥器	ヤマト科学 A D P - 2 1	1	H. 12	環境
大量注入装置	G L サイエンス	1	H. 12	環境
マルチ環境計測システム	テストー 4 4 5	1	H. 12	環境
オキシダント自動測定記録計	東亜 D K K G U X - 2 5 3	1	H. 12	環境
窒素酸化物自動測定記録計	東亜 D K K G L N - 2 5 4	1	H. 12	環境
中性子サーベイメーター	アロカ	1	H. 12	環境
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	日本電子(株) J M S - 7 0 0	1	H. 11	環境
高速液体クロマトグラフ	H P L C	1	H. 11	環境
ハイパリアムエア-サンプラー	柴田科学 H V C - 1 0 0 0 N	1	H. 10	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード H P 6 8 9 0	1	H. 9	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード H P 5 9 7 3	1	H. 9	環境
高周波発光フラッシュ発光分光分析装置	日本ジャレルアッシュ I R I S - A P	1	H. 9	環境
マイクロウェーブ分解装置	マイルストーン社 M L S - 1200MEGA他	1	H. 9	環境
冷却小型遠心機	コクサン H - 5 0 0 F R 型	1	H. 9	環境
非メタン炭化水素測定装置	島津 H C M - 4 A 他	1	H. 9	環境
I M 泉効計	理研計器	1	H. 9	環境
重油中いおう分分析装置	理学電気 サルファ X T R 4 3 0 0 9	1	H. 8	環境
分取液体クロマトグラフ	日本ウオーターズ 4 0 0 0	1	H. 8	環境
マイクロプレート・ルミノメータ	アート J N R A B 2 1 0 0	1	H. 8	環境
メディカルフリーザー	三洋電機 M D F - U 4 4 2	1	H. 8	環境
シンチレーションサーベイメーター	アロカ T C S - 1 6 6	1	H. 8	環境
悪臭測定装置	島津 G C - 1 7 A P F F p	1	H. 7	環境
還元気化水銀測定装置	マーキュリー I R A - 2 A	1	H. 7	環境
高速液体クロマトグラフ分取システム	日本分光 P V - 9 8 7	1	H. 7	環境
風向風速計(測定車積載用)	小笠原計器 C - W 1 0 3	1	H. 7	環境
大気汚染測定車「あおぞら」	いすゞ K C - L R 2 3 3 J	1	H. 7	環境
オゾンメーター	東亜 D K K	1	H. 5	環境
生物発光測定器	アロカ B L R - 3 0 1	1	H. 5	環境
パージトラップガスクロマトグラフ質量分析計	横河 H P - 5 9 7 2 A	1	H. 5	環境
分光光度計	日立 U - 3 0 0 0	1	H. 5	環境
ポータブルガスクロマトグラフ	H N U G C - 3 1 1	1	H. 5	環境
煙道用窒素酸化物測定装置	島津 N O A - 7 0 0 0	1	H. 4	環境
一酸化炭素記録計	堀場 A P M A - 3 5 0 0	1	H. 4	環境
分光光度計	日立 U - 2 0 0 0	1	H. 4	環境
T O C 測定装置	島津 T O C - 5 0 0 0	1	H. 4	環境
イオンクロマトグラフ	横河 I C 7 0 0 0 S	1	H. 3	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード H P - 5971A	1	H. 2	環境
ガスクロマトグラフ(F P D)	日立 2 6 3 - 7 0	1	H. 1	環境
原子吸光光度計	日立 Z - 6 1 0 0	1	S. 62	環境
炭化水素モニタ	島津 H C M - 4 A	1	S. 62	環境
アンダーセン大気用サンプラー	日本化学工業 3 3 5 1	1	S. 59	環境
1/3-10分間実時間分析器	リオン S A - 2 5	1	S. 57	環境

品 名	規 格	数量	購入年度	所属
ガスクロマトグラフ (ECD)	日立 163	1	S. 53	環境
粉碎器	(株)レッチェ グラインドミックス GM200	1	H. 21	食品
ガスパージ式濃縮器	GLサイエンス リアクティサーモ	1	H. 21	食品
分液ロート振とう器	東京理科機器 MMV-1000W	1	H. 21	食品
ガスクロマトグラフタンデム質量分析計	アジレント7000B GC/MS トリプル四重極システム	1	H. 21	食品
抽出用マントルヒーター	(株)東京技術研究所 HKI-A-6	1	H. 21	食品
液体クロマトグラフタンデム質量分析計	AB SCIEX 4000 QTrap	1	H. 20	食品
自動化農薬成分抽出装置	GLサイエンス G-Prep GPC8100	1	H. 20	食品
高速液体クロマトグラフ操作ソフト	島津高速液体クロマトグラフ VP10 V6 ハードウェアソフトウェアキット	1	H. 20	食品
冷凍庫	日本フリーザー GS-5203KHC	1	H. 19	食品
オートクレーブ	ヤマト SP200	1	H. 19	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津 GC/MS-2010	1	H. 18	食品
ガスクロマトグラフ (ECD)	島津 GC-2010 ECD	1	H. 17	食品
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメント RA-3 Model3220	1	H. 16	食品
ガスクロマトグラフ (ECD)	島津 GC-2010 ECD-NPD付き	1	H. 15	食品
ガスクロマトグラフ (NPD)	アジレント HP-6890	1	H. 15	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカーカード HP5973	1	H. 10	食品
原子吸光分光光度計	セイコー電子工業 SAS7500	1	H. 8	食品
高速液体クロマトグラフ(カーバメイト農薬測定用)	島津 LC-10ADポストカラム	1	H. 6	食品

[平成22年度に購入した検査備品]

品 名	規 格	数量	設置場所(部)
液体クロマトグラフ溶媒選択バルブ	アジレント(株)G1360A1200LC用	1	食品安全検査センター

6.2 新規購入図書

[雑誌]

分 類	雑 誌 名	巻 号
(邦文雑誌)		
400 科学	放射線化学	53-54
430 化学	食品衛生研究	60-61
490 医学	保健医療科学	59-60
	PHARM TECH JAPAN	26-27
518 衛生工学	資源環境対策	46-47
	環境技術	39-40
	生活衛生	54-55
	全国環境研究会誌	35
	官公庁環境専門資料	45-46